地域で活躍する農業農村工学人材育成の拠点

佐賀大学・農学部・生物環境科学科・生物環境保全学コース
〒840-8502　佐賀市本庄1
（交通アクセス：JR長崎本線 佐賀駅からバスで15分）
E-mail：choh@cc.saga-u.ac.jp（担当；長　裕幸）

生物環境保全学コースは，1961年農学部に設置された農業土木学科に端を発し，以来56年間，農業土木の教育・研究を行い，多くの技術者を全国に輩出してきました。現在，佐賀県庁には50名以上の卒業生が在籍し，農林水産省九州農政局にも30名以上が在籍しており，現在も毎年継続的に採用されており，佐賀県を中心とした北部九州地域の農業農村工学に関する人材育成の拠点となっています。

近年，国際的に活躍できる人材育成にも力を入れており，新設されたJICAのインターン制度に昨年度1名，今年度2名の3年生が採用され，カメルーンの米作りプロジェクトに約一ヶ月参加しています。JICAのABEイニシアティブによるアフリカからの留学生の受け入れをはじめ，英語での授業による国際人材育成プログラムも行われており，今後さらに，地域ばかりでなく国際的にも活躍できる農業農村工学技術者の人材の育成も大きなテーマとなっています。

生物環境保全学コースの研究室の構成は以下のとおりです。

地圏環境学分野：農業にとって最適な土壌環境を保全するために必要な，土中の水分や溶質等の物質循環の予測，現場モニタリング手法に関する教育・研究を行う。

水環境工学分野：水資源と水環境の問題を利水の面からとらえ，水を有効に利用するための計画，管理及び制御と水環境保全について教育・研究する。

浅海干潟環境学：海と陸の境界に位置し，魚介類や鳥類など多くの生物が生息している浅海干潟域の環境特性，機能及び保全について教育・研究する。

環境地盤学分野：生物生産の場及び農業関連構造物の基礎としての地盤の有効利用，地盤を構成する土の物理・化学・力学的性質や土壌環境汚染対策について教育・研究する。

生物環境学分野：生物環境・食料生産環境における化学物質汚染のメカニズムの解明，環境に配慮した化学物質利用法の提案について教育・研究する。

海浜環境情報学分野：海浜台地の農業と環境保全のために，物質動態予測モデルや農地管理技術の開発及び地域資源の農業への活用技術について教育・研究を行う。

資格取得：技術士補，測量士補，土木施工管理技士受験資格，自然再生士，教職免許（理科（高校，中学），農業（高校））など

就職先：農林水産省，長崎県庁，佐賀県庁，福岡県庁，佐賀市役所，三祐コンサルタンツ，日化エンジニアリング，あおみ建設，新日本土木建設，松尾建設，全農他